

# 早産・低出生体重児の食物アレルギー発症に関する検討

**出典** アレルギーの臨床 2020;40(4):321-326  
(<http://search.jamas.or.jp/link/ui/2020188639/>)

**著者** 馬場 洋介 他

**調査地域** 順天堂大学医学部附属静岡病院新生児センター（静岡県伊豆の国市）

**調査時期** 2014年4月～2017年3月

**調査対象** 新生児センターを退院し、修正1歳6ヶ月時点で追跡可能であった児

**依頼数** 1216人

**有効回答数** 30.4% (366人)

**または回収率**

**診断方法** 医師診断

**有症率** 1歳6か月時点の食物アレルギー発症は8.7%

**調査概要** 新生児センターを退院し、修正1歳6ヶ月時点で追跡可能であった児の食物アレルギー発症と新生児期の状況（出生週数、出生体重、集中治療管理の有無など）との関連を検討している。